

調査活動／地域での活動

福祉施設整備説明会

7月20日(月)、「久我山1丁目都有地における**高齢者及び障害者施設整備計画**住民説明会」に参加しました。

これは、都営団地の一角に、認知症高齢者グループホームや重度知的障害者通所施設等を整備するものです(開設予定は令和6年3月)。



私は午後開催された第1部に出席しましたが、約20名の方が参加されており、**関心の高さ**が伺えました。今後、運営事業者の決定・工事着工と進んでまいりますので、進捗等に留意していきたいと思っております。

自転車放置防止協力員

8月27日(木)、今年も「**杉並区自転車放置防止協力員地域別連絡会**」に参加しました。

当日は、放置防止協力員の活動実績や区の放置自転車対策の現状について説明を受けました。なお、令和元年度の放置自転車台数(1日あたり)は、898台となっております。



意見交換では、参加者から「小中学校での啓発活動」について要望が出る等、**担当所管をまたいだ連携策**についても、改めて考える機会となりました。放置自転車台数は年々減少してきておりますが、より安全な街となるよう、引き続き取組んでいきたいと思っております。

放課後活動研修

9月5日(土)、「**コロナ禍での安心・安全な遊び場づくり**」をテーマとした「土曜日学校・放課後子ども教室担当者研修」に参加しました。



他校での活動事例報告や参加者からの質疑を通して、各校の担当者の、迷いながらも工夫を重ねて「**子供達への活動を再開しよう／続けていこう**」という想いが伝わってきました。私自身が取り組んでいる小学校での放課後子ども教室も、まだ一定の制約はありますが、他校での取組も参考に、可能な限り子供達にとっての「遊びの場／活動の場」を用意していきたいと思っております。

ゲストティーチャー

9月から10月にかけて、計4回、**小学校体育発表会での表現種目における「ゲストティーチャー」**として、授業に参加しました。



今回の対象は小学5年生で、児童数は約75人。新型コロナウイルス感染症対策下という制約された環境の中で、皆一生懸命がんばってくれました。発表会当日、私は「かけ声」で参加しましたが、子供達は素晴らしい演技だったと思います。**様々な子供達と直に触れ合うことができ、学校現場の様子も知ることができ**こうした機会は、今後も積極的に関わっていききたいと思っております。

次回の定例区議会(令和2年第4回定例会)は、11月16日(月)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp

杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告

第68号(令和2年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和元年5月より5期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(17歳)、長女(15歳)、次男(12歳)。

- P.1 令和元年度決算の分析(財政面)
- P.2 令和元年度決算の分析(業務執行面／結論と今後の区政への要望)
- P.3 決算特別委員会での質疑
- P.4 調査活動／地域での活動

目標達成意識が向上

～ 令和元年度杉並区決算を分析する ～

令和元年度杉並区一般会計決算が、10月13日の区議会において、賛成多数で認定されました。

私は、財政面では「新・5大ルール」が全て守られていたこと、業務執行面では目標を達成した施策指標の比率が上向き、目標達成意識に向上が見られたことから、賛成いたしました。

決算分析:判断①<財政面>

令和元年度から適用される、新しい「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」は、下記の5つです。

令和元年度実績

ルール①:財政調整基金の年度末残高350億円維持 <理由>大規模災害や経済事情の著しい変動等による減収に備えるため。	458億円
ルール②:施設整備基金に40億円積立 <理由>将来の区立施設の改築・改修需要に備えるため。	40億円
ルール③:赤字区債を発行せず、建設債についても必要性を十分検討して発行 <理由>区債(借金)残高を適正水準に維持し、将来世代に過度な負担を残さないため。	赤字区債ゼロ。 建設債は財政計画より約4億8千万円減少。
ルール④:行政コスト対税率等比率^(*)が100%以内 <理由>財政の弾力性を保持するため。 (*)行政コスト対税率等比率…税率等の財源に対する行政コストの比率。	92.1%
ルール⑤:債務償還可能年数^(**)が3年以内 <理由>将来にわたって健全な財政運営を持続していくため。 (**)債務償還可能年数…業務活動収支の黒字分を実質債務の償還に充当した場合に、何年で償還できるかを示す値。	0.6年

新しい「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」適用初年度に、しっかりと全てが守られていたこと、特に、**建設債の発行が財政計画より減少したことは、評価をしたい**と思っております。

決算分析:判断②<業務執行面>

目標を達成した施策指標の割合

総合計画(平成24年度～令和3年度)では、事業の進捗状況を図るために、各施策指標^(*)に対して各年度の目標値を設定しております。令和元年度の達成状況は、絶対値としては30%強と未だ満足できる水準ではありませんが、**前年度より好転**したことは安心しました。
 (*1)施策指標・・・当初は73項目。現在は86項目。

目標を達成した 施策指標の割合

平成30年度	令和元年度
20.5%	31.0%

目標達成意識の向上

決算資料(『区政経営報告書』内の「総合計画・実行計画の進捗状況」)の記述や委員会での質疑を通して、**施策指標に対する目標達成意識の向上**が伺えました。



例1:地域たすけあいネットワーク^(*)登録者数

登録者数増に向けて、①郵送による個別勧奨②高齢者の集会施設や介護事業者等の研修会において周知活動
 (*2)地域たすけあいネットワーク(地域の手)・・・災害時において、自力では避難が困難な方(障害のある方や高齢の方等)を、地域の方々によるささえあいで、たすけあうしくみ。支援を希望する区民が登録する。

例2:パパママ学級受講率

受講率(受講者数)増に向けて、①開催方法等の工夫(子ども・子育てプラザでの開催)②コロナ禍による休止への代替策として、動画配信を実施

また、「事務事業評価表」においても、新たに「**計画(目標値)に対する実績(指標の分析等)**」という項目が追加されました。

新型コロナウイルス感染症対応

各対策本部を立ち上げた(格上げした)経緯及びその主な取組を確認し、概ね適切に対応が図られたことを確認しました。

あわせて、一定の落ち着きが見られた段階で、「**対応を検証して教訓を得る**」ため、区対策本部における対策の実施に係る記録を作成・保存し、公表すること」を求めました。

設置年月日	本部名	開催回数
1月30日	健康危機管理対策本部	7回
2月28日	危機管理対策本部	10回
3月26日	新型コロナウイルス感染症対策本部	27回(*3)

(*3)8月までに開催された回数。

決算分析:結論と今後の区政への要望

10月12日(月)、会派を代表して、令和元年度杉並区各会計決算に対する意見開陳を行いました。

財政面及び業務執行面での分析等を元に**賛成**するとともに、今後の区政運営への要望として、下記を求めました。

- 公表データの拡充等も含め、**新型コロナウイルス感染症への適時適切な対応**を図ること。
- 当面、厳しい財政状況が想定されるため、従来以上に**長期最適の視点を持って、区の事業についてゼロベースで精査し、見直す**こと。
- 令和4年度からの新たな基本構想・総合計画の策定にあわせ、**各種行政計画を、体系を含めて整理**すること。



② なお、商店会補助金不正受給に関して決算資料に言及がないことについては、苦言を呈しました。

決算特別委員会での質疑

9月30日(水)～10月12日(月)、決算特別委員会が開催され、10月1日(木)、2日(金)、6日(火)、7日(水)に質問者として登壇しました。以下、その一部を取り上げます。

* 決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

1日	財政運営(P.1参照)
	施策目標達成に向けた取組(P.2参照)
	新型コロナウイルス感染症対応(P.2参照)
2日	行財政改革
	商店会補助金不正受給への対応(P.2参照)
	広聴(区民意向調査)
6日	地域たすけあいネットワーク(P.2参照)
	パパママ学級(P.2参照)
	がん検診
7日	レジ袋有料化条例
	有用金属のリサイクル
	狭あい道路拡幅整備
7日	区費教員
	行政計画(P.2参照)



【区費教員】

【質問の背景】

杉並区には、区費教員(区独自採用の教員)が現在**69名**おります。この結果、①**小学校全学年での30人程度学級**実施による、きめ細かい指導体制②**特別支援教育の充実**等が図られております。

しかしながら、現状では管理職になっている区費教員はおらず、今後の人事管理について確認しました。

【岩田の質問】

- ①現在、管理職候補者は何名いるのか。
- ②早ければいつ頃管理職第1号が誕生しそうか。

【区の答弁】

- ①選考等にかかわっている教員は4名。
- ②令和5年度を想定。



杉並区の教育を一層充実させていくために、異動が杉並区内に限られる区費教員にも、様々な立場で活躍していただきたいと思っております。

【広聴(区民意向調査)】

【質問の背景】

今年度から、区民意向調査の調査方式が、「訪問回収法」から「郵送回収法」に変更となりました。

【岩田の質問】

国勢調査では、**インターネット回答方式**を推奨している。区民意向調査においても導入を検討してはどうか。

【区の答弁】

今の時代に有効な方法だが、無記名で回答いただいているため、個人情報取り扱いに課題があり、今後研究していきたい。



今回のコロナ禍を受け、行政におけるICT活用への要求は高まることが想定されます。個人情報保護にも留意しながら、コスト削減や効率性・利便性向上を目指し、**情報技術のさらなる有効活用**を考えていく必要があります。

【狭あい道路拡幅整備】

【質問の背景】

杉並区では、平成元年度から条例に基づく拡幅整備に取り組んでおり、**平成28年度には条例を改正し、取組を積極化**しております。



質疑の中では、①決算当該年度(令和元年度)の取組②現在及び今後、加速化を図るために行う取組③拡幅用地(後退用地)に設置されている支障物件への対応 等を確認しました。

狭あい道路では、緊急車両や福祉送迎車の通行が困難となります。地道な、時間のかかる取組ですが、**安全・安心な街としていく**ために、引き続き取組を確認していきたいと思っております。

